



研究者紹介 私の研究

動物
研究部

脊椎動物研究グループ
かわだ しんいちろう

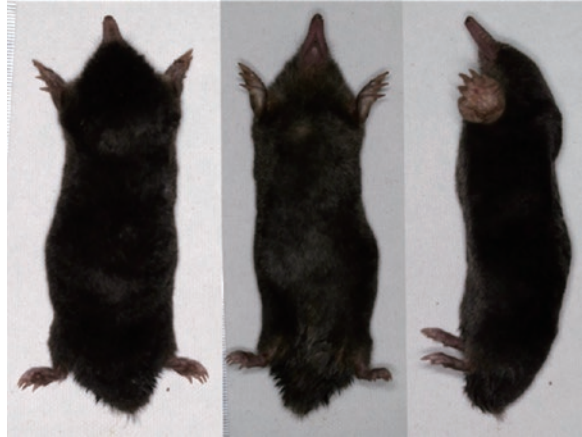
川田 伸一郎 研究主幹

『アジアには何種のモグラが
いるのだろうか?』



モグラは日本ではよく知られた動物ですが、アジアの他の国では認知度が低い動物です。日本のように田畑を荒らす害獣というイメージはなく、森の地下でひっそりと暮らしている珍しい動物です。研究者の眼から見ても、歴史的にあまり研究がされておらず、何種に分類できるのかまだよくわかっていません。僕は自慢のモグラ捕りの技を使って、これらを捕まえて形態学的研究を行っています。

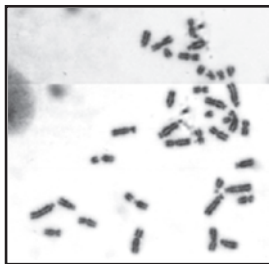
基本的には捕まえたモグラたちを毛皮と骨の標本にして、ヨーロッパや北米の博物館に保管されている古い標本と比較して種の同定をしていきます。ところがどうしてもうまく同定できないものが見つかってきました。こういった種に関しては形態の記載を行い、新しい名前をつけます。新種の哺乳類が今でも見つかるなんて驚くかもしれませんが、これまでに台湾とベトナムで各1種が新種記載されています。アジアのモグラの種数はまだまだ増えそうです。



まずは外部形態を観察して...



頭骨をしっかりと調べまして...



染色体なんかも調べちゃいます。これは僕が *Euroscaptor subanura* と名付けたベトナムのモグラ。染色体数は38本で、モグラ類ではこれまでに知られていない数でした。



モグラは体の骨もとっても面白いんだよね...

| 研究員に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

モグラの分類学です。でも、もっぱら標本作りばかりやっています。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

子どものころから昆虫が大好きで、生き物の研究がやりたいと思ってました。大学で哺乳類に目覚めました。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

実は哺乳類の研究史も調べておまして、明治時代の無名の採集人たちの活動と標本や論文の内容がパズルのようにはまっていくのに快感を感じています。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

プレイブを黙らせるな、いつもチャレンジャー。情熱を大切にしてください。

